

『小学生のためのエコ学習トランク教室－第3回』報告書

■目的 21世紀を生きる子どもたちに、地球温暖化の現状と原因を伝え、温暖化防止の為に自分たちにできることを学んでもらう。又、参加した子ども達を通して、温暖化防止活動が家族全員に伝わり、広がっていくことを期待する。

■開催日時 2016年8月3日(水) 13:30～15:00

■会場 宇部市立図書館 講座室

■参加者 26名

■講師 溝田 忠人(お話)

名越 久美(紙芝居)

■工作指導 溝田 忠人、田中 護、近藤 幸海

■スタッフ 殿河内、兼久、太田、木原、松井(以上UNCCA)

■内容

(1) お話「うべのすてきなものをたくさんみつげよう」

講師が日々の生活の中から見つけた、様々生物を紹介し、自分たちの周辺にある豊かな自然を知ることの面白さを子どもたちに教える。

(2) 紙芝居「ゴミってなあに」

①使うものは全てゴミになる②ゴミの削減は地球の資源を守ること③宇部市のゴミ処理の仕組み(ゴミの分別、リサイクル)④モノを大切にすることが温暖化防止になることなど、クイズ・実習を通じて教える。

(3) 廃棄物を利用して遊具をつくる: ペットボトルプロペラソーラーカー工作

ペットボトルにハンダゴテで穴明けし、モーター、ソーラーパネル、車輪を取り付け、プロペラで動くソーラーカーを作る。

(4) アンケート実施

- ・参加者を対象に、環境教室と省エネに関するアンケートを実施。
- ・教室の内容について、「面白かった」79%、「良く分かった」67%の回答があった。
- ・省エネの取組みについて、「実施している」「実行する」と答えた人が全体の72%あった。(別紙「エコ学習トランク環境教室アンケート結果」参照)

■写真



写真-1 溝田先生のお話



写真-2 紙芝居の始まり



写真-3 ゴミの分別を実習



写真-4 ゴミの分別を実習



写真-5 PET でソーラーカー工作



写真-6 ソーラーカーの試運転

■感想・その他

- ① 初めてするゴミ問題の紙芝居は準備に手違いがあり、伝えたいことを 100%伝えられなかった。
- ② ペットボトルソーラーカー工作では、ペットボトルにあけた孔が小さい等のトラブルはあったが、全員完成した。
- ③ エフエムきらら「エコキッズアワー」(8月8日 10:00～10:55)に於いて、参加者1名、溝田代表、松井の3名が出演し、教室の報告を行った。出演した参加者から「工作教室は楽しかった」と好評でした。
- ④ 今回の経験を生かして内容を改善し、さらに充実した教室にして行きたい。

以上
(文責：松井)